

委員質問・意見等

第 102 回定例会 (12 月 7 日) 受付分

➤ 保安院に対する質問

- ・ 11月11日、保安院は6事業者に地震動、津波に関する調査指示があったようだが、柏崎刈羽はない。同様の指示を柏崎刈羽にも出して検討すべきと考えるが、ない。その理由は何か。

➤ 柏崎市に対する質問

- ・ 防災無線が各戸に設備されてからかなり年月が経っています。そろそろ壊れている物もあると思います。対策は？

➤ 東京電力に対する質問

- ・ 原子炉建屋トップベントにフィルターをつけないのは何故か。
  - ・ 別紙の6項目の内容について（村民から託された質問も含まれています）
- 以上について文書をもってお答えいただきたい。（私をとおして質問をした人にきちんと答えていただきたいため）

別紙参照

12月9日追加

➤ 国？に対する質問

- ・ スピーディによるシミュレーションを提示してほしい。予備知識として私たちは知っておくべきではないか。（別に今から不安をあおる意図ではない）
- ・ 例えば、標準的な春・夏・秋・冬のパターンや、最も強い季節風のパターンなど。もちろん、刻々と気象が変化することは承知しているものの、やはり事前に知っておきたい。

東電に対する質問をお願いします。

- 1 福島原発事故で現在、原発から飛散している放射能は、爆発当初より少なくなり1億ベクレル(6千ベクレル)とのことですが、事故前の放射能はどのくらいでしたか、また、柏崎・刈羽原発は現在の放射エネルギーはどのくらいでしょうか。
- 2 地上の高濃度堆積物からの飛散放射能はどのくらいでしょうか。
- 3 刈羽村は柏崎・刈羽原発から5km以内ですが、福島第一原発5km以内地点の住民はいつ帰宅できるか教えていただきたい。
- 4 柏崎・刈羽原発で放射性物質が飛散した場合、回収、除染は当事者の東電が行うのでしょうか。福島原発事故の放射性物質の除染を求めた裁判で東電は「放射性物質は無主物、東電の所有物ではないため責任はない」と答弁していますが、将来、柏崎・刈羽原発で事故時の放射性物質が飛散し、除染する場合でも同じ主張をするのでしょうか。
- 5 避難(強制、自主)した場合、保証はどの程度払われるのでしょうか。具体的に伺いたい。また、補償請求は、柏崎・刈羽原発の事故の際も、福島原発事故と同じように160ページに及ぶマニュアルを読み、60ページの請求フォームに書き込み、宿泊費や交通費、医療費の領収書を添付しなければならないのでしょうか。それならば、資料として、事前に目を通しておきたいので、30km圏内の住民に配布してください。
- 6 柏崎・刈羽原発が事故を起こした場合を考えて、地域住民と東電とで事故後の対応を含めた事前協定を取り決めておくべきではないかと思いますが、東電にそのつもりはありますか。